

道路の整備に関するプログラム

平成30年度
(2018年度)
岡山県

I 趣旨・目的

平成30年3月30日に道路法等の一部を改正する法律が成立し、道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律(以下「道路財特法」という。)による国費率のかさ上げ措置について、今後も引き続き計画的に道路の整備・機能強化に取り組んでいく観点から、平成30年度以降10年間継続されることとなりました。

「岡山県の道路の整備に関するプログラム」は、道路財特法による国費率のかさ上げ措置の継続等を踏まえた計画的な道路整備や、近年の道路をとりまく環境の変化に応じた新たな施策への取組を図るため、本県における道路整備の基本方針、同方針に資する事業等を明らかにするものです。

II 計画期間

平成30年度(2018年度)～令和9年度(2027年度)

- ・前期:平成30年度(2018年度)～令和4年度(2022年度)
- ・後期:令和5年度(2023年度)～令和9年度(2027年度)

Ⅲ 基本方針

岡山県では、県政の基本目標である、すべての県民が明るい笑顔で暮らす「生き生き岡山」の実現に向けて、県政推進の羅針盤『第3次晴れの国おかやま生き生きプラン』をはじめ、『第2期おかやま創生総合戦略』や『岡山県国土強靱化地域計画』に沿って道路整備を進めます。

第3次晴れの国おかやま生き生きプラン

教育県岡山の復活

地域を支える産業の振興

安心して豊かさが実感できる地域の創造

※行動計画【R3(2021)～R6(2024)】

第2期おかやま創生総合戦略

※計画期間【R3(2021)～R6(2024)】

岡山県国土強靱化地域計画

※計画期間【R3(2021)～R6(2024)】

岡山県の道路の整備に関するプログラム

【重点施策】

- 交通基盤整備
- 道路防災施設の整備や橋梁の耐震化の推進
- 戦略的維持管理の推進
- 通学路等による交通安全の確保
- 地域の生活を支える道づくり
- 道の駅の地域拠点化
- 無電柱化の推進

「生き生き岡山」の実現

IV 岡山の現状

【県北部地域】

- ・ 北に中国山地、南に吉備高原を擁する中山間地域で、県内有数の観光地である蒜山高原をはじめ多くの優れた観光資源を有する。
- ・ 人口に占める65歳以上の高齢者率が高く、県平均を上回る速さで高齢化が進行している。



【県南部地域】

- ・ 医療、交通、教育、大規模商業施設などさまざまな都市機能を備え、中四国の拠点として、さらなる発展が期待されている。
- ・ 東西南北に伸びる高速道路や鉄道網、国際拠点港湾水島港など地域を支える交通基盤に恵まれており、県総合流通センターなどの広域物流拠点が集積している。

V 重点施策

1) 地域を支える産業の振興のための道路整備

① 交通基盤整備

i) 高規格幹線道路の整備

➤ 現状と課題

中国横断自動車道岡山米子線の暫定2車線区間については、高速道路ネットワークが本来有すべき安全性や定時性の確保とともに、大規模災害時など防災上の観点から課題を抱えています。

➤ 進め方

中国横断自動車道岡山米子線の暫定2車線区間について、時間信頼性の確保、事故防止の観点及びリダンダンシー確保の観点から、早期に4車線化されるよう取り組みます。



【岡山米子線(現況)】



【岡山米子線(有漢IC北付近整備中)】

ii) 地域高規格道路の整備

➤ 現状と課題

県北などの中山間地域では人口減少が著しく進行し、経済活動の縮小など地域の活力が低下し、医療サービスなど地域間の格差が拡大しています。

また、県南では、慢性的な渋滞が発生しており、定時性や安全性が確保されておらず、企業活動の生産性が著しく低下するなど、産業活動や観光振興等に支障が生じています。

このため、高規格幹線道路を補完し、これらの課題に対応する地域高規格道路の整備が必要となっています。

➤ 進め方

広域交流の拡大や地域間連携を促進するため、高規格幹線道路と一体となって幹線道路ネットワークを形成する美作岡山道路や、県南西部の渋滞緩和を図る倉敷福山道路などの整備を促進します。



【美作岡山道路(瀬戸IC～吉井IC)】



【倉敷福山道路(鴨方IC付近整備中)】

1) 地域を支える産業の振興のための道路整備

①交通基盤整備

iii) 地域間を連絡する道路ネットワークの強化

➤ 現状と課題

県内の地域間の交流や連携を促進するとともに、災害発生時に、基幹的陸上交通ネットワークが長期間にわたり機能を停止し、経済活動が停滞することなどを防止するため、国県道における緊急輸送道路やその代替路、主要な幹線道路から物流拠点などへの道路の整備を進め、道路網のリダンダンシー強化を図る必要があります。平成30年7月豪雨では、災害時の避難路や緊急輸送道路として道路の果たす役割が再認識されました。

➤ 進め方

地域間の連携強化や国土強靱化を図るため、国道429号(旭バイパス)や県道落合建部線(旦土橋)など、隣接する市町村間を連絡する道路の整備を進めます。



【国道429号旭バイパス(江与味第二トンネル)】



【県道落合建部線(旦土橋)】

iv) 交通拠点・物流拠点・観光地へのアクセスの強化

➤ 現状と課題

岡山県は、陸海空の広域交通ネットワークの整備が進み、中四国のクロスポイントとしての優位性を有しています。一方、県内の交通拠点や物流拠点、観光地へのアクセス道路など、県や市町村が管理する道路の整備は十分ではなく、優位性を活かしてきれていない状況にあります。

➤ 進め方

岡山県が有する優位性を十分活かすよう、港湾、インターチェンジ、鉄道駅、空港などの交通拠点、物流拠点、観光地へのアクセスの強化のため、県道六条院東里庄線(バイパス)や県道箕島高松線(4車線化)などの整備を進めます。



【県道六条院東里庄線(整備中)】



【県道箕島高松線(整備中)】

1) 地域を支える産業の振興のための道路整備

① 交通基盤整備

v) 交通渋滞の緩和を図るための道路整備

➤ 現状と課題

交通渋滞は、速度低下に伴う経済損失の増大やCO2排出の増大などの課題のほか、物流コストの増加などにより、産業振興へも悪影響を与えます。県下には、岡山市、倉敷市をはじめ65箇所の主要渋滞箇所を抱えており、特に、県南の大動脈である国道2号の岡山市から倉敷市間では、中国地方屈指の交通量を有していることから、慢性的な渋滞が発生し、産業や観光振興に深刻な影響を及ぼしています。

➤ 進め方

国道2号岡山倉敷立体(I期)や国道180号総社・一宮バイパスなどの整備による道路ネットワークの強化を図るとともに、交差点改良によるピンポイント対策を進め、交通渋滞の緩和を図ります。



【国道2号(岡山市～倉敷間)(現況)】



【国道180号総社・一宮バイパス(令和4年度開通箇所)】

2) 安心して豊かさが実感できる地域の創造のための 道路整備

① 道路防災施設の整備や橋梁の耐震化の推進

➤ 現状と課題

県内では集中豪雨や台風による大雨等により、斜面崩壊や落石等などの道路災害が発生していることから、緊急輸送道路や事前通行規制区間の道路斜面の危険箇所等を優先して道路防災工事を順次進めております。しかし、近年の異常気象や、斜面の経年劣化による災害リスクの高まりや道路防災施設の老朽化等、道路防災を取り巻く環境は厳しくなっています。

また、東海・東南海・南海地震が連動して発生する可能性が高まり、東日本大震災のような従来の想定を超えた巨大地震の発生が懸念されています。

このため、県民の生活・経済活動や災害時の緊急輸送を支え、今後も安全で安心して利用できる防災・減災対策、国土強靱化対策に資する道路整備等が強く求められています。

➤ 進め方

道路災害を未然に防止し、道路利用者の安全や道路ネットワークの安全性・信頼性の確保を図るため、効率的かつ効果的な道路防災事業を推進しており、特に国道180号や国道429号などの落石・崩土危険箇所対策や事前通行規制区間の見直しの検討に取り組んでいきます。

また、南海トラフ地震等の大規模災害等の発生時において、落橋による道路利用者等への被害を防ぐとともに、道路ネットワークの長期間にわたる機能停止及び、復旧復興活動の大幅な遅延を防ぐため、国道484号(愛宕ループ橋)や県道藤戸連島線(連島高架橋)など、橋梁の耐震化を推進します



【国道180号(落石対策)】



【県道藤戸連島線 連島高架橋(整備中)】

② 戦略的維持管理の推進

➤ 現状と課題

県管理道路の橋梁や道路トンネルなどは、高度経済成長期に建設されたものが多く、建設後50年を経過する施設が今後急速に増えていく見込みであり、補修・更新費用が増大が懸念されています。このままでは適切な維持管理を続けることが困難となることから、これまで以上に効率的かつ効果的な維持管理が必要です。

➤ 進め方

緊急輸送道路や物流拠点へのアクセス道路等の橋梁・トンネルなどの道路施設が本来の機能を常に発揮できるよう、各施設の長寿命化計画に基づき、効率的かつ効果的な戦略的維持管理を推進します。

2) 安心して豊かさが実感できる地域の創造のための 道路整備

③通学路等による交通安全の確保

➤ 現状と課題

通学路における交通安全の確保については、市町村毎に定めている通学路交通安全プログラムに基づき、学校関係者や警察、道路管理者等と連携し定期的に合同点検を行うことで危険箇所の把握や必要な対策を実施していますが、令和3年の千葉県八街市での事故をはじめ、通学路等における登下校中の事故が依然として多く発生していることから、交通安全対策の更なる推進を図ることが重要です。

➤ 進め方

各地域の実情を踏まえた通学路の合同点検を継続して行うとともに、令和3年度の通学路緊急合同点検や通学路交通安全プログラムに基づく合同点検において対策が必要とされた箇所について、歩道等の整備を着実かつ効果的に推進します。



【県道新見勝山線(整備中)】



【県道総社足守線(整備中)】

④地域の生活を支える道づくり

➤ 現状と課題

人口減少や高齢化が進む中、中山間地域等の活力を維持するためには、集落機能の維持、強化など、拠点機能の確保が必要であり、伝統、文化、自然といった地域資源を活かした自立的な地域づくりや、日常生活に必要なサービス機能の維持、確保のための道路整備が重要です。

➤ 進め方

中山間地域等の生活の中心となる拠点的地域の機能強化や「おかやま元気！集落」をはじめとした集落機能の維持・強化に取り組む地域を支援するため、「おかやまスタンダード」による、効果的・効率的な道路整備を推進し、すれ違いが困難な箇所や見通しの悪い箇所を計画的に改善します。



【県道栃原久米南線(現況)】



【県道大佐日野線(現況)】

2) 安心して豊かさが実感できる地域の創造のための 道路整備

⑤道の駅の地域拠点化

➤ 現状と課題

道の駅は、安全で快適な道路交通環境の形成、地域資源を生かして観光客を呼び込む観光の拠点、買い物などの日常サービスで地域を支える施設としての機能を継続的・発展的に発揮していくことが必要です。

➤ 進め方

道の駅が、その機能を継続的・発展的に発揮できるよう、市町村と連携し、地域の拠点施設として既存の道の駅の機能強化に取り組むとともに、道の駅の新設を検討する市町村に対しては、道路管理者として支援に努めます。



【道の駅 山陽道やかげ宿】

⑥無電柱化の推進

➤ 現状と課題

無電柱化は、防災性の向上、安全・円滑な交通の確保、良好な景観の形成等の観点から実施しておりますが、整備コストが割高であることや地上機器の設置に必要なスペースの確保が困難であること及び電線事業者等への負担などが関係者の調整や合意形成の支障となるため、進捗が図られていません。

➤ 進め方

岡山県無電柱化推進計画を策定し、限りある予算の中で整備コストの低減を図り、国道179号など、優先的に無電柱化を推進すべき道路について、計画的な無電柱化を推進します。



【国道179号(管路整備状況)】



【国道179号(入線作業中)】

◎資料編 (令和6年3月更新)

◆ 主な道路事業箇所一覧

※事業中の箇所及び新規事業化が認められた箇所を記載している。

1) 地域を支える産業の振興のための道路整備

<高規格幹線道路>

1) - ① - i

番号	事業名	全体事業費 (億円)	事業期間
1	中国横断自動車道 岡山米子線(4車線化)		

<地域高規格道路>

1) - ① - ii

番号	事業名	全体事業費 (億円)	事業期間
2	地域高規格道路 倉敷福山道路 (国)2号玉島・笠岡道路(Ⅱ期)(浅口市～笠岡市)	636.0	H20 ~ R7
3	地域高規格道路 倉敷福山道路 (国)2号笠岡バイパス(笠岡市)	543.0	S63 ~ R7
4	地域高規格道路 空港津山道路 (国)53号津山南道路(美咲町～津山市)	220.0	H16 ~
5	地域高規格道路 美作岡山道路 英田IC～湯郷温泉IC	91.0	H29 ~
6	地域高規格道路 美作岡山道路 吉井IC～英田IC	475.0	R3 ~

<地域間を連絡する道路ネットワークの強化>

1) - ① - iii

番号	事業名	全体事業費 (億円)	事業期間
7	(国)429号【旭バイパス】(吉備中央町～美咲町)	129.0	H8 ~ R8
8	(国)181号(神戸)【現道拡幅】(津山市)	9.0	H30 ~ R6
9	(国)313号(下方)【現道拡幅】(真庭市)	7.4	H23 ~ R6
10	(国)313号(山田)【現道拡幅】(真庭市)	8.0	H29 ~ R6
11	(県)高梁御津線【現道拡幅】(吉備中央町)	6.9	R1 ~ R6
12	(県)倉敷笠岡線【船穂工区、バイパス】(倉敷市)	78.0	H12 ~ R7
13	(県)倉敷妹尾線【バイパス】(倉敷市)	42.4	R3 ~ R15
14	(県)下原船穂線【バイパス・現道拡幅】(倉敷市)	6.6	R1 ~ R10
15	(県)東水砂矢掛線【バイパス】(矢掛町)	4.8	H24 ~ R6
16	(県)落合建部線【バイパス】(真庭市)	9.4	H17 ~ R6
17	(県)新見勝山線【バイパス】(新見市)	30.0	R3 ~ R12
18	(県)鏡野久世線【現道拡幅】(鏡野町)	4.6	H28 ~ R6
19	(県)上横野兼田線【バイパス】(津山市)	28.0	R4 ~ R11

<交通拠点・物流拠点・観光地へのアクセス強化>

1) - ① - iv

番号	事業名	全体事業費 (億円)	事業期間
20	(国) 430号(玉)【現道拡幅】(玉野市)	23.4	H30 ~ R7
21	(県) 飯井宿線【交差点改良】(瀬戸内市)	5.0	R1 ~ R7
22	(県) 服部射越線【現道拡幅】(瀬戸内市)	9.1	R2 ~ R7
23	(県) 箕島高松線【現道拡幅】(岡山市～倉敷市)	22.0	H30 ~ R6
24	(県) 水島港唐船線【バイパス】(倉敷市～浅口市)	44.0	H18 ~ R11
25	(県) 六条院東里庄線【バイパス】(浅口市～里庄町)	36.0	H29 ~ R7
26	(県) 矢掛寄島線【バイパス】(浅口市)	12.6	H19 ~ R8
27	(県) 矢掛寄島線【バイパス】(浅口市)	9.0	R4 ~ R11
28	(県) 園井里庄線【バイパス】(笠岡市)	6.5	H29 ~ R6
29	(県) 新見日南線【現道拡幅】(新見市)	2.1	R6 ~ R9
30	(県) 備前牛窓線【バイパス】(備前市)	9.1	R3 ~ R12
31	(都) 寿町八王寺線(倉敷市)	40.6	H14 ~ R13
32	(都) 寿町石見線(倉敷市)	14.8	H14 ~ R13
33	(都) 北浜日吉線(倉敷市)	7.2	H14 ~ R13
34	(都) 川入日吉線(倉敷市)	7.8	H14 ~ R13
35	(市) 茂平148号長瀬笹無線【現道拡幅】(笠岡市)	9.4	R1 ~ R7
36	(村) 田浪線【現道拡幅】(新庄村)	11.9	H21 ~ R9
37	(市) 開田線【新設】(瀬戸内市)	9.7	R2 ~ R6
38	(市) 篠坂スマートインターチェンジアクセス線【新設】(笠岡市)	2.7	R3 ~ R7
39	(市) 上長田矢広線【現道拡幅】(高梁市)	3.4	R3 ~ R7
40	(市) 檜林線【バイパス】(高梁市)	2.0	R4 ~ R7
41	(市) 矢広中央線【現道拡幅】(高梁市)	2.0	R3 ~ R7
42	(市) 浦伊部線【新設】(備前市)	5.3	R3 ~ R7

<交通渋滞の緩和を図るための道路整備>

1) - ① - v

番号	事業名	全体事業費 (億円)	事業期間
43	(国) 180号 総社・一宮バイパス(岡山市～総社市)	580.0	S48 ～
44	(国) 2号 岡山倉敷立体(Ⅰ期)(岡山市～倉敷市)	430.0	R4 ～
45	(県) 美袋井原線【バイパス】(総社市)	16.0	H30 ～ R7
46	(市) 総社川崎線【新設】(津山市)	5.4	H20 ～ R8
47	(都) 下町薬師院線・南町近似線(高梁市)	12.5	R5 ～ R12

2) 安心で豊かさが実感できる地域の創造のための道路整備

<道路防災施設の整備や橋梁の耐震化の推進> その1

2) - ①

番号	事業名	全体事業費 (億円)	事業期間
48	(国) 429号【落石対策】(吉備中央町) (案田～小森工区) (小森2工区) (上田西工区)	15.0	H24 ～ R10 (R2 ～ R4) (R4 ～ R6) (R4 ～ R6)
49	(国) 374号【落石対策】(備前市～和気町) (伊部工区) (伊部2工区) (岩戸～矢田工区) (矢田2工区)	5.3	H23 ～ R7 (R2 ～ R4) (R4 ～ R6) (R2 ～ R4) (R5 ～ R7)
50	(国) 484号【落石対策】(赤磐市)	2.5	H29 ～ R8
51	(国) 313号【落石対策】(井原市) (宇戸川工区) (宇戸川2工区)	9.6	H24 ～ R10 (R2 ～ R4) (R4 ～ R6)
52	(国) 180号【落石対策】(高梁市) (松山工区) (松山2工区) (田井工区)	16.6	H21 ～ R18 (R2 ～ R4) (R5 ～ R7) (R4 ～ R6)
53	(国) 313号【落石対策】(高梁市)	19.0	H24 ～ R18
54	(国) 180号【落石対策】(新見市) (千屋実工区) (千屋実2工区) (井倉工区) (草間工区)	26.5	H21 ～ R18 (R2 ～ R4) (R5 ～ R7) (R3 ～ R5) (R6 ～ R8)
55	(国) 429号【落石対策】(美咲町) (西埜和1工区) (西埜和2工区)	15.0	H23 ～ R10 (R2 ～ R4) (R5 ～ R7)
56	(国) 429号【落石対策】(美咲町) (南工区) (南2工区)	5.9	H27 ～ R6 (R2 ～ R4) (R4 ～ R6)
57	(国) 179号【法面对策】(鏡野町)	2.5	H30 ～ R8
58	(国) 482号【落石対策】(鏡野町) (上齋原1工区) (上齋原2工区)	5.8	H25 ～ R8 (R3 ～ R4) (R4 ～ R6)
59	(国) 181号【落石対策】(真庭市)	14.0	H22 ～ R9

<道路防災施設の整備や橋梁の耐震化の推進> その2

2) - ①

60	(国) 313号【落石対策】(真庭市) (真賀～見尾工区) (見尾2工区)	11.9	H22 ～ R7 (R2 ～ R4) (R5 ～ R7)
61	(国) 313号【落石対策】(真庭市)	3.8	H29 ～ R8
62	(国) 374号【落石対策】(美作市) (巨勢～湯郷工区) (巨勢2工区) (入田工区)	9.0	H23 ～ R7 (R2 ～ R4) (R5 ～ R7) (R5 ～ R7)
63	(国) 373号【落石対策】(西粟倉村) (筏津工区) (筏津2工区)	5.2	H25 ～ R7 (R2 ～ R4) (R5 ～ R7)
64	(県) 寒河本庄岡山線【落石対策】(瀬戸内市) (虫明～本庄工区) (尻海2工区)	8.8	H23 ～ R8 (R3 ～ R5) (R6 ～ R8)
65	(県) 寒河本庄岡山線【落石対策】(備前市) (鶴海工区)	8.0	R4 ～ R10 (R4 ～ R6)
66	(県) 岡山吉井線【落石対策】(赤磐市)	2.0	H30 ～ R8
67	(県) 笠岡井原線【落石対策】(井原市)	2.0	H30 ～ R8
68	(県) 新見川上線【落石対策】(高梁市) (布賀工区) (布賀2工区) (布瀬工区)	51.2	H23 ～ R10 (R2 ～ R4) (R5 ～ R7) (R2 ～ R8)
69	(県) 津山柵原線【落石対策】(津山市) (金屋工区) (金屋2工区)	6.6	H30 ～ R7 (R2 ～ R4) (R5 ～ R7)
70	(県) 津山柵原線【落石対策】(美咲町) (栗子1工区)	5.1	H25 ～ R8 (R2 ～ R2)
71	(県) 落合建部線【落石対策】(真庭市) (野原～舞高工区) (舞高2工区)	5.1	H22 ～ R10 (R2 ～ R4) (R4 ～ R6)
72	(県) 新見勝山線【落石対策】(真庭市)	3.7	H22 ～ R6
73	(県) 作東大原線【落石対策】(美作市) (豊野工区) (豊野2工区)	5.0	H29 ～ R10 (R2 ～ R4) (R5 ～ R7)
74	(県) 藤戸連島線 連島1号高架橋【耐震補強】(倉敷市)	7.9	H30 ～ R6
75	(県) 藤戸連島線 連島2号高架橋【耐震補強】(倉敷市)	6.2	H30 ～ R6
76	(県) 藤戸連島線 連島3号高架橋【耐震補強】(倉敷市)	4.6	H30 ～ R6
77	(国) 484号 愛宕ループ橋【耐震補強】(高梁市)	5.4	R1 ～ R10

<道路防災施設の整備や橋梁の耐震化の推進> その3

2) - ①

78	(国) 484号_松山大橋【耐震補強】(高梁市)	6.6	R1 ~ R10
79	484号_不動橋【耐震補強】(高梁市)	2.5	R2 ~ R7
80	484号_城見橋【耐震補強】(高梁市)	4.8	R2 ~ R10
81	(町) 小坂林野線【落石対策】(奈義町) (3~4工区)	1.5 1.2	H28 ~ R7 (R4 ~ R7)
82	(町) 梶並線【落石対策】(奈義町)	1.5	R2 ~ R6
83	(市) 井山線【落石対策】(井原市) (210,250,260,270,360,380,400,410工区)	4.5	H29 ~ R6 (R3 ~ R5)
84	(市) 畑沖栄町線【落石対策】(美作市) (巨勢工区)	1.8	R5 ~ R9 (R7 ~ R9)
85	(市) 河本線【落石対策】(新見市)	3.1	H29 ~ R8
86	(町) 福見線【落石対策】(美咲町) (西川~東埴和工区)	1.1	R1 ~ R7 (R3 ~ R5)
87	(町) 余角畝南線【落石対策】(久米南町) (1工区) (2工区)	1.2	R4 ~ R7 (R4 ~ R6) (R5 ~ R7)
88	(市) 大山線【落石対策】(美作市) (2工区)	1.5	H29 ~ R7 (R5 ~ R7)
89	(町) 祖母中央線【落石対策】(美咲町)	1.4	R5 ~ R7

<通学路等による交通安全の確保>

2) - ③

番号	事業名	全体事業費 (億円)	事業期間
90	(国) 482号【自転車歩行者道設置】(真庭市)	3.2	H29 ~ R8
91	(国) 179号【交差点改良】(美作市)	5.1	R2 ~ R7
92	(国) 313号【自転車歩行者道設置】(真庭市)	6.5	R3 ~ R9
93	(県) 倉敷玉野線【歩道設置】(倉敷市)	1.8	H28 ~ R7
94	(県) 上高末総社線【バイパス】(総社市)	8.4	H22 ~ R6
95	(県) 百々榎村線【現道拡幅・歩道設置】	1.0	R5 ~ R7
96	(県) 勝央仁堀中線【現道拡幅・歩道設置】	0.9	R6 ~ R8
97	(県) 総社足守線【歩道設置】(総社市)	9.5	H25 ~ R10
98	(県) 寄島笠岡線【歩道設置】(笠岡市)	2.2	H27 ~ R8
99	(県) 新見川上線【歩道設置】(新見市)	4.1	H29 ~ R8
100	(県) 津山柵原線【歩道設置】(津山市)	4.6	H27 ~ R7
101	(県) 小原船頭線【自転車歩行者道設置】(津山市)	7.9	H28 ~ R8
102	(県) 金屋国分寺線【自転車歩行者道設置】(津山市)	5.0	H28 ~ R7
103	(県) 久米中央線【自転車歩行者道設置】(美咲町)	2.7	H29 ~ R7
104	(県) 勝央勝北線【歩道設置】(勝央町)	2.5	H28 ~ R7
105	(都) 連島呼松線(倉敷市)	30.0	H26 ~ R10
106	(都) 早島大砂線(早島町、倉敷市)	25.0	H24 ~ R6
107	(都) 新田上富井線(倉敷市)	31.0	H18 ~ R8
108	(都) 矢柄西田線(倉敷市)	46.2	H25 ~ R7
109	(都) 総社川崎線(津山市)	27.7	H20 ~ R6
110	(市) 福岡43号線【自転車歩行者道設置】(津山市)	6.4	H28 ~ R6
111	(市) 勝部川崎線【歩道設置】(津山市)	2.6	H28 ~ R6
112	(市) 工門・市場線【歩道設置】(津山市)	2.2	R2 ~ R6
113	(市) 中央180号線【歩道設置】(津山市)	2.7	R3 ~ R7
114	(市) 勝部線【歩道設置】(津山市)	2.8	R3 ~ R7
115	(市) 山田原蕃山線【歩道設置】(備前市)	1.4	R2 ~ R6
116	(市) 高野204号線【新設】(津山市)	2.8	R5 ~ R10

<地域の生活を支えるみちづくり>

2) - ④

番号	事業名	全体事業費 (億円)	事業期間
117	(市) 岩田長尾線【新設】(赤磐市)	4.0	H28 ~ R6
118	(町) 運動公園線【バイパス】(矢掛町)	4.0	H30 ~ R6
119	(町) 久木吉ヶ原線【バイパス】(美咲町)	5.3	H23 ~ R8
120	(市) 正崎西中線【バイパス】(赤磐市)	4.4	R2 ~ R7
121	(市) 浅柄線【現道拡幅】(高梁市)	3.4	R2 ~ R6
122	(市) 中原町新町線【現道拡幅】(高梁市)	4.3	R2 ~ R8
123	(町) 1号線【新設】(早島町)	4.0	R2 ~ R7
124	(市) 秦中央本線【現道拡幅】(総社市)	3.0	R3 ~ R7
125	(市) 市場井谷線【現道拡幅】(高梁市)	1.0	R2 ~ R6
126	(町) 里見716号線【新設】(里庄町)	1.3	R3 ~ R6
127	(市) 生坂二日市線【新設】(倉敷市)	22.0	R4 ~ R9
128	(市) 東総社駅前泉本線【新設】(総社市)	3.3	R4 ~ R8
129	(市) 垂水下紙屋線【現道拡幅】(真庭市)	2.9	R6 ~ R10
130	(市) 西上山形線【現道拡幅】(津山市)	2.4	R4 ~ R8
131	(町) 辻堂線【現道拡幅】(矢掛町)	2.4	R5 ~ R9

<無電柱化の推進>

2) - ⑥

番号	事業名	全体事業費 (億円)	事業期間
132	(国) 179号 小田中工区(津山市)	6.0	H30 ~ R7
133	(県) 笠岡井原線 笠岡工区(笠岡市)	3.6	R1 ~ R9
134	(国) 180号 高尾工区(新見市)	10.4	R4 ~ R17
135	(国) 429号 平田工区(倉敷市)	13.0	R4 ~ R20
136	(市) 金崎浜田線(笠岡市)	2.8	R2 ~ R8
137	(市) 駅前古城池霞橋線(倉敷市)	12.1	R4 ~ R10
138	(県) 玉野福田線 曾原工区(倉敷市)	13.0	R5 ~ R25
139	(国) 430号 宇野工区(玉野市)	3.8	R6 ~ R12